

区分32	専門分野 血液学的検査	授業科目名	血液検査学実習	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	2年 前期	担当教員	今村 文章	担当教員の 実務経験	有 無
◆実務経験の内容 三菱病院に5年間、諫早総合病院に34年間、合計39年臨床検査技師として勤務。その間、血液検査を専門として臨床実務を経験。その間、日臨技血液検査研究会の全国委員、平成8年からは班長を務めた。平成4年からは本校の非常勤講師として血液学を担当して以来32年目となる。					
◆授業の目的・目標 血球の分化、生成、機能、質的、量的など血液学の基礎を活用し、更に詳細な知識を取り込みながら、CBCの各種実習を行う。					
◆授業の概要・授業方針 各項目について、基礎的な手法による検査で、試薬の特性や原理等を中心に実習する。					
◆テキスト・参考資料等 教科書(医歯薬出版社)血液検査学を中心に、試薬の添付書なども取り入れ、実習を行う。			◆成績評価の方法 出欠状況、授業に対する真摯さを観ながら、質問等に対する回答能力なども評価するが、最終的には試験での評価とする。		
授業計画				チェック欄	
第1回	血液学の歴史、レポートの書き方。				
第2回	採血、採血の副作用、CBCの試薬作成など				
第3回	CBCについて(赤血球・白血球)				
第4回	実習(赤血球・白血球)				
第5回	CBCについて(ヘマトクリット・ヘモグロビン)				
第6回	実習(ヘモグロビン検量線作成・ヘマトクリット)				
第7回	CBCについて(血小板)				
第8回	実習(血小板=直接法・間接法)				
第9回	CBCについて(網状赤血球)、自動機器によるCBC				
第10回	実習(網状赤血球)				
第11回	溶血検査について(赤血球抵抗試験・砂糖水試験・Ham試験)				
第12回	実習(赤血球浸透圧抵抗試験)				
第13回	赤血球沈降速度について				
第14回	実習(赤血球沈降速度・ウェスタグレン法)				
第15回	薄層塗抹標本作成と濃塗抹標本作成。普通染色(パッペンハイム染色、固定・染色液の特性)				
第16回	実習(薄層塗抹標本作成・普通染色)				
第17回	末梢血薄層塗抹標本の鏡検・観察				
第18回	実習(薄層塗抹染色標本鏡検)				
第19回	細胞化学(ペルオキシダーゼ染色・ズダンブラックB染色)				
第20回	実習(染色・鏡検)				
第21回	細胞化学(アルカリホスファターゼ染色)				
第22回	実習(染色・鏡検)				
第23回	細胞化学(特異的エステラーゼ・非特異的エステラーゼ染色)+弗化ソーダ阻害試験				
第24回	実習(染色・鏡検)				
第25回	細胞化学(PAS染色)				
第26回	実習(染色・鏡検)				
第27回	細胞化学(PAS染色)				
第28回	実習(染色・鏡検)				
第29回	白血病分類(FAB分類)と細胞化学				
第30回	白血病分類(FAB分類)と細胞性免疫				